

経営比較分析表（令和6年度決算）

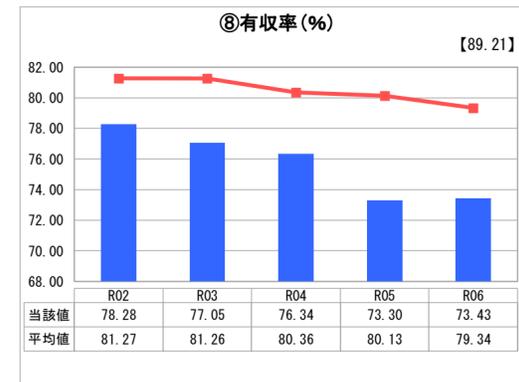
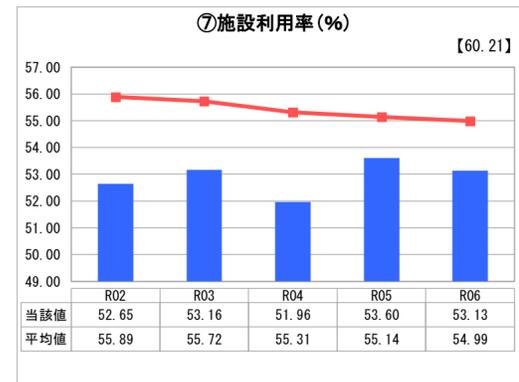
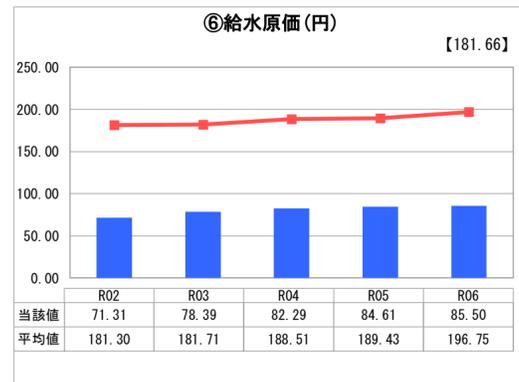
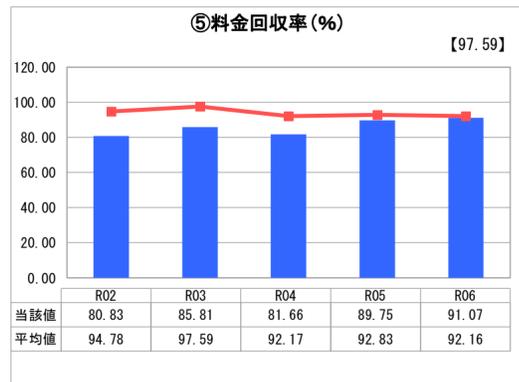
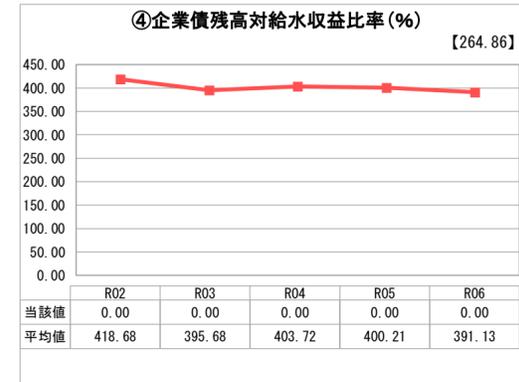
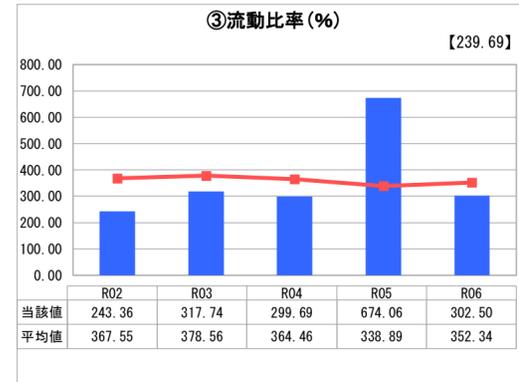
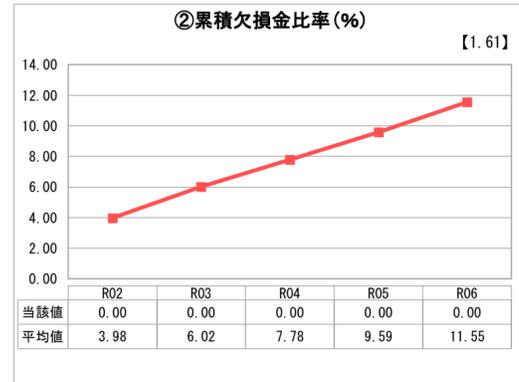
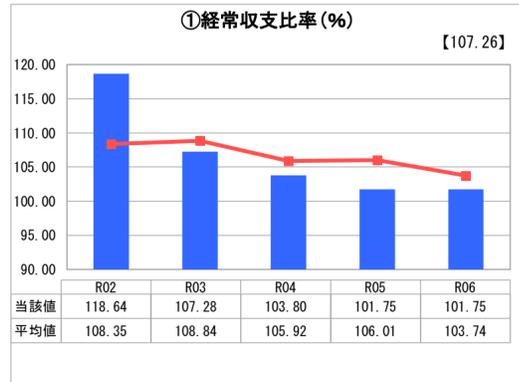
岐阜県 神戸町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	93.88	98.95	1,645	

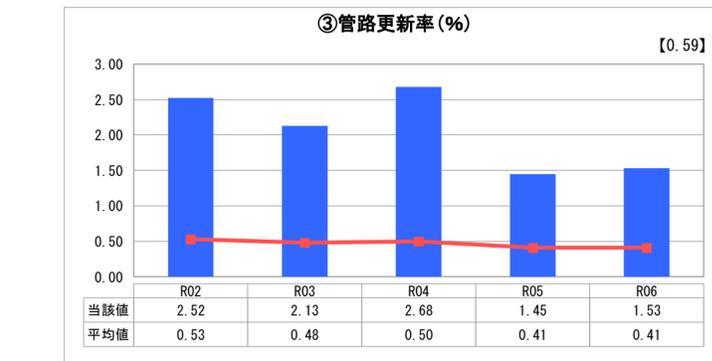
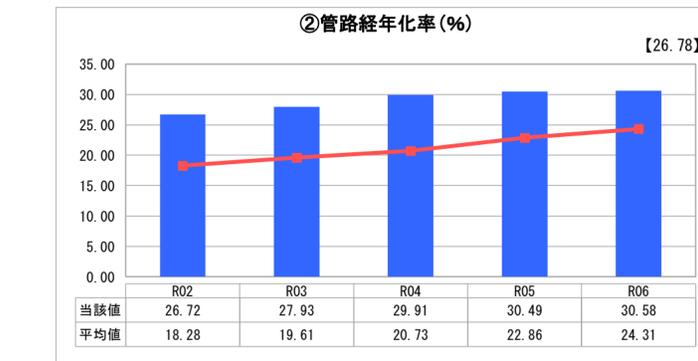
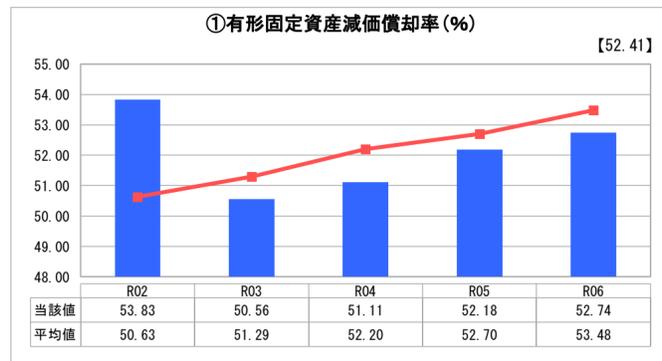
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,210	18.78	969.65
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
17,518	18.00	973.22

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は前年度と同率となり、100%超を維持しているが、物価高騰や減価償却費の増加による支出増により厳しい状況である。類団平均はやや下回るものの、累積欠損金は発生しておらず、健全な財政状態を維持できている。流動比率は高水準で、類団平均はやや下回るものの、支払い能力は十分に確保されている状況である。

現在、企業債は借入を行っていない。料金回収率は100%を下回っているが、物価高騰対策として水道料金の基本料金を一部免除した政策的理由によるもので、一般会計から補填を行っているため問題はない。

給水原価はわずかに上昇傾向にあるが、良質な地下水を水源としているため、類似団体と比較しても大幅な低水準を維持している。施設利用率は、人口減少等による使用水量の減少を顕著に受けており、類団平均よりもわずかに下回っている。

有収率は類団平均より大幅に低いため、配水・給水管について、町内を4つのエリアに分け4年で町内全域をカバーできる体制で漏水調査を実施するなどし、有収率向上のための対策を進めている。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、北部水源の機械・電気設備の更新を行ったため、令和3年度から類似団体より低くなったが、その後は上昇傾向にあり、施設の老朽化が年々進んできている。管路経年化率は微増傾向にあり、配水管の布設替えを行うなど、老朽管を少なくする必要がある。管路更新率は、令和5年度以降低下したものの、類団平均より高く維持されている。今後しばらくは下水道事業の整備に合わせて配水管の布設替えを行うため、管路更新率は高く維持される予定である。

全体総括

経営状態は、累積欠損金や企業債も無く健全な状態であるが、経常収支比率の低下傾向等あり、令和7年4月より水道料金の20%増額改定を行う。管路更新を積極的に行っており、類団平均より管路更新率は高いが、管路の老朽化は今後も進むため、引き続き管路更新率を高く維持していく必要がある。

施設利用率が類団平均より低く、将来の水需要予測を踏まえ、施設・設備の合理化を検討する必要がある。有収率の低水準が顕著であり、漏水調査などによる実態を把握し、改善していく必要がある。